

やまぐち次世代型教育推進事業における授業改善サポート事業

基礎学力の定着と学習意欲の喚起を図る取組の充実に向けた

実践事例集

令和4年3月

山口県教育委員会

もくじ

| | |
|----------------------------------|---|
| はじめに | 1 |
| やまぐち次世代型教育推進事業における授業改善サポート事業について | 2 |
| 実践事例 | |
| ○ 山口県立熊毛南高等学校 | 3 |
| ○ 山口県立下関双葉高等学校 | 5 |

はじめに

社会や生活の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代において、学校教育には、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることなどが求められています。

こうした中、令和4年度から年次進行で実施される新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に整理するとともに、各学校において、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図る「カリキュラム・マネジメント」の確立を図ることとされています。

また、生徒に必要な資質・能力を育むための学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していく視点として「主体的・対話的で深い学び」を位置付け、各教科等の指導に当たっては、資質・能力が偏りなく育成されるよう授業改善を行うこととされています。

県教育委員会では、令和4年度からの新学習指導要領の年次進行による実施を見据え、平成30年度から「やまぐち次世代型教育推進事業」を立ち上げ、県立高等学校7校を次世代型教育パイオニア校に、また2校を授業改善サポート校に指定し、新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法や評価方法の開発、授業改善などの実践研究に取り組んできたところです。

このたび、その成果の普及の一環として、高校生の基礎学力の確実な定着に向けたPDCAサイクルを構築・確立するための参考となるよう、授業改善サポート校における3年間の実践研究の成果を「実践事例集」に取りまとめました。

各学校におかれましては、生徒や学校、地域の実態を適切に把握した上で、教育の目標を明確化し、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成や、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習の推進など、教科等間のつながりを意識した「カリキュラム・マネジメント」を円滑に進めていただくとともに、本事例集を活用して、高校生に求められる基礎学力の定着と学習意欲の喚起を図る取組を充実していただきますようお願いいたします。

令和4年3月

山口県教育庁高校教育課長 国清 賢一

やまぐち次世代型教育推進事業における授業改善サポート事業について

1 目的

「高校生のための学びの基礎診断」制度を活用して、生徒の基礎学力の定着や学習意欲の喚起を促すP D C Aサイクルの構築・確立に資する実践的な研究を、指定する学校（授業改善サポート校）で行うとともに、その成果を全ての県立高等学校等に普及することにより、各学校における高校生に求められる基礎学力の定着と学習意欲の喚起を図る取組を充実させる。

2 対象

令和元年度に決定した授業改善サポート校

※ 実施については、学年単位、学科単位等も可とする。

3 期間

平成31年4月から令和4年3月まで

4 内容

「高校生のための学びの基礎診断」において認定された測定ツールを活用して、高校生の基礎学力の定着や学習意欲の喚起を促すP D C Aサイクルの構築に向けた校内研修体制等の開発及び普及を行う。